

12月・1月に行われたイベントなどについて
お知らせします

市社会福祉協議会 事務所が移転

1月4日(月)、市社会福祉協議会本所および今市支所がそれぞれ、藤原福祉センター「ふじの郷」と市役所本庁舎1階に移転し業務を開始しました。市社会福祉協議会星野事務局長は「コロナウイルス関係の相談など、市と連携し効率的に対応したい」と話しました。



市役所本庁舎に移転した今市支所

とちぎ国体ラッピング車両の協賛

12月25日(金)、2022年1月に開催される第77回国国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」冬季大会の支援として、栃木スバル自動車株式会社から日光市実行委員会へ、国体ラッピングを施した自動車「SUBARU フォレスター」1台の協賛がありました。

協賛車両には、黒い車体に日光市をイメージしてオレンジのラ



レプリカキーの贈呈式

インが入っており、国体のロゴマークおよび、市内で開催するスケート競技(スピード・ショートトラック・フィギュア)とアイスホッケー競技をイメージした「とちまるくん」のイラストが描かれています。

車両は今後、「いちご一会とちぎ国体」冬季大会の開催PRに活用していきます。



協賛車両のフォレスター

武射祭

1月4日(月)、中宮祠の日光二荒山神社中宮祠で新春の恒例行事「武射祭」が行われました。

武射祭は、男体山の神が赤城山の神と戦場ヶ原で戦った際、弓の名人小野猿丸の加勢で勝利した伝説にちなんだ行事です。

当日は雪が舞う極寒の中、中麿輝美宮司をはじめ、神職や弓道家約20人が境内の上神橋から赤城山



弓を構える神職

の方角に「ヤー」という掛け声とともに、矢を放ちました。

放たれた矢は拾うと縁起が良いといわれ、来場者が雪の中を夢中で探し、発見するとうれしそうに持ち帰りました。

中麿宮司は「今年は新型コロナウイルスの感染防止や国家と地域の平安、人々のご多幸を祈念し、矢を放ちました」と話しました。



次々と矢を放つ弓道家

高校生合同作品展

1月21日(木)~25日(月)、杉並木公園ギャラリーで今市・今市工業・日光明峰高校、今市特別支援学校高等部の生徒の書、絵画、写真などの作品が一堂に会した展覧会が開催されました。

新型コロナウイルスの影響で活動や発表の場が減る中、生徒たちの貴重な発表の場となりました。



生徒の力作を鑑賞する来場者



犯罪被害者等支援巡回パネル展

11/26～
12/2

犯罪被害者や遺族の方々がおかれている現状や、被害者等支援の必要性を広く理解してもらうことを目的に、栃木県および公益社団法人被害者支援センターと



市役所市民ホールでの展示の様子

提供：人権・男女共同参画課

ちぎと共催で「犯罪被害者等支援巡回パネル展」を開催しました。

期間中、会場では足を止めパネルに見入る方の姿が見られました。

プロゴルファー金子選手来庁

12/28

令和2年11月にゴルフのプロテストに合格した報告を行うため、市出身の金子優将選手(23歳)が来庁しました。金子選手は「まずはツアー出場を目指します。



プロ資格の「トーナメントプレイヤー認定証」を手にする金子選手

提供：秘書広報課

運を引き寄せられるプレイヤーになり、日光の大会にも出場して、地元の方々に活躍する姿を見せたいです」と抱負を語りました。

大嶋浩美さんから新春コンサートDVDの寄贈

1 / 8

日光観光大使・とちぎ未来大使を務める音楽家の大嶋浩美さんから、自身が演奏する新春コンサートDVDが、昨年に引き続き市内の高齢者施設などに寄贈されました。



DVDを手にする大嶋浩美さん(右)と母の早苗さん(左)

提供：高齢福祉課

大嶋さんは「施設入居者の皆さんに今年も笑顔で楽しく過ごしてほしいと思い、DVDを作成しました」と話しました。

国際ソロプチミスト日光からの寄附

12/24

国際ソロプチミスト日光から、新型コロナウイルス感染症対策として100万円の寄附があり、岡崎清子会長から大嶋市長に手渡されました。



市長へ寄附を渡す岡崎会長(左から2番目)

提供：総合政策課

寄附金は、新型コロナウイルス感染症対策応援基金に積み立て、今後の感染防止対策や市民生活の支援などのために活用します。

栃木県ゴルフ連盟から市スポーツ協会への寄附

1 / 5

栃木県ゴルフ連盟日光支部松本健司支部長ら2人が、市役所を訪れ、市内で開催したチャリティーゴルフ大会の収益金16万4,296円を、市スポーツ協会へ寄附



教育長へ寄附を渡す松本支部長(左)

提供：日光市スポーツ協会

しました。

松本支部長は、「寄附金はスポーツの普及や振興、子どもたちの育成に役立ててほしい」と話していました。

上都賀農業協同組合から市内小中学校へいちごの贈呈

1 / 15

上都賀農業協同組合は、「学校給食による食育活動」の一環で市内小中学校へいちごを贈呈しました。

上都賀産のおいしいいちごを給食で食べてもらい、食や農業への関心を高め、食を支える農業の役割を理解してもらう取り組みです。市内の児童生徒など、約5,000人がいちごを味わいました。



どちおとめを手渡す大橋組合長(左)

提供：農林課